

群馬県立前橋西高等学校 学校評価一覽表 ① (平成30年度版)

群馬県立前橋西高等学校

(様式1)

羅 針 盤			方 策	<第1回点検・評価>			<第2回点検・評価>			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	・習熟度別の履修形態(数学)に、生徒の80%以上が満足している。 ・少人数制の授業形態(英語・体育)に、生徒の80%以上が満足している。 ・「特色ある学校行事」に、生徒の80%以上が満足している。 ・自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	・生徒の実態に応じ、主体的・対話的で深い学びの授業への転換を進め、学習意欲を喚起する。 ・少人数による授業により、双方向的できめ細かな学習指導を実施し、学習内容の十分な定着を図る。 ・「強歩遠足」、「球技大会」、「芸術教室」、「マラソン大会」等の行事、部活動や委員会活動を充実し、生徒が活躍する場所をつくる。 国際科については「異文化共生社会」をめざし行事を工夫する。	A	A	・数学、英語、体育ともに、習熟度別授業、少人数制授業に高い評価を受けており、引き続き主体的・対話的で深い学びの授業への転換を進めていく。				
		・「授業が分かりやすい」と、生徒の70%以上が答えている。 ・進路実現に向けた学習指導に、生徒の70%以上が満足している。 ・計画的に学習をしている生徒が70%以上である。	・校内研修を充実させ、授業アンケートを授業の改善に生かす。 ・アクティブラーニングにより主体的対話的な学びの授業を行う。 ・タブレットの導入および教室で使用できるように、WiFi環境の整備を進める。 ・土曜課外授業・進学課外を充実し、生徒の意欲を喚起するとともに、一層の学力向上を図る。 ・各教科で予習や課題の指示を明確に行い、家庭で学習に取り組むことの習慣化を図り、特に休日の学習時間の増加に取り組む。	A	B	・学年を中心にすえた教科横断的な研究授業、授業研究会を実施するとともに、一人ひとりの先生方が、授業アンケート・校長の授業観察をもとに授業改善を図っていく。				
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	・学習内容の定着を図り、家庭での学習時間は「学年+1」時間以上である。 ・単位未修得者は、生徒の5%以下である。 ・漢字検定2級合格者10名以上、英検2級合格者が10名以上である。	・キャリア教育の充実を務め、進路実現を念頭に学習意識を高めて、生徒が自ら学習に取り組むように、進路講演会やLHRを活用していく。 ・各教科で工夫した探究的な学習課題を課し、家庭学習時間の増加を図る。 ・家庭と連絡を取り成績不振者の特別指導を、定期テスト前に実施する。 ・英語においては、大学入学共通テストを念頭において、特別な指導を実施する。	A	A	・土曜課外の年間計画を示し必要性を認識させて大学進学希望者に対して全員参加を徹底する。 ・学ぶことの意味を将来的な視点から明確化して継続的に伝えていく。				
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	・各教科で工夫した課題等を課すことで家庭での学習時間の増加を図る。 ・進路を実現を念頭に学習意識を高めて、生徒が自ら学習に取り組むように、進路講演会やLHRを活用していく。 ・各担任・教科担任の指導のもと、全ての生徒が未修得科目を解消することができた。 ・大学入学共通テストを念頭において、検定対策を計画、実施する。	C	C	・各教科で工夫した課題等を課すことで家庭での学習時間の増加を図る。 ・進路を実現を念頭に学習意識を高めて、生徒が自ら学習に取り組むように、進路講演会やLHRを活用していく。				
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	・生徒指導に関する校則を、生徒及び保護者の80%以上が理解し、納得した学校生活を送っている。 ・学校は、いじめの発生防止及び早期発見に向けた取り組みを積極的に行っているとして生徒及び保護者の80%が理解し満足している。 ・部活動に、生徒の70%以上が積極的に取り組み、継続的に活動をしている。	・集会時や配付物等を通じて、生徒指導方針の理解と内容の周知を図り、SNS利用ルールの徹底などネット関係の規範意識の育成を推進する。 ・いじめ問題は早期対応が図れるよう、観察と情報収集を適宜行う。いじめの解消については丁寧に慎重に行っていく。またスクールカウンセラーを活用した教育相談の充実を図る。 ・部活動の活性化に向けて、中心となる生徒を勧誘し育てるとともに、活動内容や指導方法などの改善に取り組む。	A	A	・生徒指導全般については、職員共通理解のもとで進めているが、ネット関係の指導体制は、状況を確認して指導方法を確立していきたい。				
		5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	・欠席率、平均遅刻者数について、前年度(欠席率1.7%、遅刻者平均6.1人/日)以下とする。 ・健康に留意した規則正しい生活を、80%以上の生徒が送っている。	・欠席、遅刻、早退の防止に向けて、生活指導の推進と保護者との連携の強化を図る。 ・疾病や事故の防止についての指導を充実させるとともに、心の悩みを抱える生徒も見られるので、スクールカウンセラーや外部機関との連携より指導指導の強化を図る。	A	B	・いじめ問題は早期対応が図れるよう、観察と情報収集を適宜行う。特に欠席の続いた生徒に対しては注意深く観察をする。またいじめの解消については組織的かつ丁寧にやっていく。 ・部活動の活性化に向けて、中心となる生徒を勧誘し育てるとともに、活動内容や指導方法などの改善に取り組む。			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	・年間指導計画に沿った指導により、進路意識を確立できた生徒が80%以上である。	・総合学習の時間において探求的な学習活動を行いキャリア意識を養うとともに生徒の自己理解を段階的に深める指導に取り組む。	A	A	・生徒指導全般については、職員共通理解のもとで進めているが、ネット関係の指導体制は、状況を確認して指導方法を確立していきたい。				
		7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	・幅広い視点から進路選択し、前向きに取り組んでいる生徒が80%以上である。	・高大連携やインターンシップを通じキャリアステップサポートの充実を図る。 ・二者面談等の個人面談の機会を通じて、模擬試験や進路適性検査の内容や成果を適切に分析し指導を行う。	A	B	・いじめ問題は早期対応が図れるよう、観察と情報収集を適宜行う。特に欠席の続いた生徒に対しては注意深く観察をする。またいじめの解消については組織的かつ丁寧にやっていく。 ・部活動の活性化に向けて、中心となる生徒を勧誘し育てるとともに、活動内容や指導方法などの改善に取り組む。			
		8 適切な進路情報を提供していますか。	・進路関係配布物(webページを含む)に、目を通して保護者が80%以上いる。	・学校からの情報発信手段としてホームページを充実させるとともに、保護者への連絡や情報提供のために、G S Nメールをより一層活用し、進路情報が保護者・生徒に行き渡るようにする。	A	A	・家庭の理解と協力をいただきながら、休まないことや時間を守ることの大切さを指導する。 ・「保健だより」等を通して健康の大切さを伝えるとともに、心の悩みを抱える生徒も見られるので、スクールカウンセラーや外部機関との連携により指導の強化を図る。 ・今年度の指導計画に従って、計画的に指導を行う			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	・ホームページの充実と更新に努め、年間80000ページビューを目標とする。 ・PTA総会の出席率について、前年比10%の増加をはかる。 ・その他各種学校行事(グリーンカーテン設置・撤去、強歩遠足、マラソン大会)についてのPTA役員の参加率は80%以上である。	・新入生保護者説明会、PTA入会式などの高校生活スタートの機会に、PTA総会への参加の重要性を伝え、教育の基本となる連携の大切さを、ひたむきをお願いしていく。また当日には授業参観・生徒発表・進路講演会・学校評価説明会などを催す。 ・保護者の協力を得て校外での学校行事などの充実が図れるよう工夫していく。	A	A	・家庭の理解と協力をいただきながら、休まないことや時間を守ることの大切さを指導する。 ・「保健だより」等を通して健康の大切さを伝えるとともに、心の悩みを抱える生徒も見られるので、スクールカウンセラーや外部機関との連携により指導の強化を図る。 ・今年度の指導計画に従って、計画的に指導を行う				
		10 施設設備の安全管理は、十分になされていますか。	・安全点検が日常的になされており、校内に危険な箇所、危険な物品等について90%以上が改善されている。	・安全点検を毎月1回実施し、生徒、保護者アンケートの中で危険を指摘される問題点等については速やかに解決する。	A	—	・さらに学校、学年、部活動等に関係した案内・情報を積極的に発信していく ・PTA活動の様子をホームページ等を通して積極的に保護者へ伝え、来年度の総会出席者の増加につなげる ・保護者の協力を得て校外での学校行事などの充実が図れるように努める			
		11 生徒の安全指導・安全確保が十分になされていますか。	・交通ルールやマナーを遵守し、交通事故防止について、生徒の80%以上が主体的に取り組んでいる。 ・健康安全に関する講話を80%以上の生徒が理解している。	・日常的な安全教育と登校時指導等により事故防止の強化を図る。また危機管理について、全職員の共通理解を図り進めていく。 ・交通安全教室、非行防止教室、防火避難訓練等の内容を吟味し一層充実させる。	B	B	・危険と指摘された場所については点検し、改善が必要な場合には十分に検討し、善処していく ・事故防止の強化を図る。危機管理について、全職員の共通理解を図り意識改善に取り組む			
VI 安全管理に努めていますか。	11 生徒の安全指導・安全確保が十分になされていますか。	・交通安全教室、非行防止教室、防火避難訓練等の内容を吟味し一層充実させる。	・交通安全教室、非行防止教室、防火避難訓練等の内容を吟味し一層充実させる。	B	B	・講話、講習会等については、内容を吟味し、一層充実させていく。				

